



(※) COPDを知ろう！

タバコ病「COPD」とは？

COPDとは、たばこの煙などの有害な物質を吸い続けることで起こる肺の病気。COPDを発症すると、せきやたんが長く続いたり、次第にちょっとした動作でも息切れをしやすくなります。さらに、症状が悪化すると、肺や心臓病の合併症を引き起こしやすくなります。

また、COPDは世界における死亡原因の第4位にランクされている病気。日本では40歳以上の潜在患者数は530万人と推定されており、今後も増加が見込まれます。

「最近階段の上り下りがしんどい」、「せきやたんが増えた」、「息切れしやすい」などを感じている方はいませんか？早期の受診が大切です。



1日でも早い禁煙を…

◆ 5月31日は「世界禁煙デー」

「世界禁煙デー」は、世界保健機関(WHO)が制定した、禁煙を推進するための記念日です。

日本では、平成4年より5月31日から6月6日までの1週間が「禁煙週間」になっています。

喫煙はWHOも指摘しているように、予防可能な単一で最大の「病気(喫煙関連疾患)の原因」です。

今からでも遅くありません。「禁煙しよう」と思い立ったときがやめどきです。自分の健康のために、周囲の健康のために、そして、節約のために禁煙にチャレンジしてみませんか？1日でも長く余命を取り戻し、健康で過ごしましょう。

目指そうよ たばこの煙 ないまちに

急速に広がる新型たばこ

近年、「新型たばこ」が急速に普及しています。

新型たばこには、「たばこの葉を加熱する「加熱式たばこ」と、液体を加熱する「電子たばこ」があり、いずれも発生した蒸気を吸引する装置です。これらの新型たばこは匂いがありなく、目に見える副流煙も発生しないことから、人気が出ました。

新型たばこ健康への影響

新型たばこによるリスクや影響について、まだ研究が始まったばかり。しかし、健康への影響について、一般社団法人日本呼吸器学会では、新型たばこは「健康に悪影響をもたらされる」、「受動吸引による健康被害が生じる」可能性があることを指摘しました。いくつかの研究結果によると、加熱式たばこ従来の紙巻たばこ

を比べた結果、依存性の強い「ニコチン」はほぼ含有されていることが明らかになっています。

また、新型たばこによる喫煙では、目に見える副流煙は見られませんが、喫煙者が吸入するエアロゾル(霧・ミスト)には、有害な物質が多く含まれているため、新型たばこであっても、周囲の人は呼出煙による受動喫煙の被害に遭うことは避けられません。

新型たばこ紙巻たばこ同様

新型たばこはWHOのFCTC(タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約)において、紙巻たばこ同じ葉たばこを使用したたばこ製品に含まれていると定義されています。本条約締結国である我が国の受動喫煙対策においても、新型たばこは、紙巻きたばこ同様規制される対象です。

喫煙者に対し、配慮義務が課せられました

平成31年1月24日から改正健康増進法の一部が施行されたことにより、次のとおり配慮義務が課せられました。屋内・屋外を問わず、喫煙の際には周囲の状況を確認するなど、十分に留意してください。(健康増進法第25条の3第1項関係)

喫煙をする者は、喫煙をする際は望まない受動喫煙を生じることがないように周囲の状況に配慮しなければならない。

(配慮義務の具体例)

- できるだけ周囲に人がいない場所で喫煙をするよう配慮すること。
- 子どもや患者等特に配慮が必要な人が集まる場所や近くにいる場所では特に喫煙を控えること。

問い合わせ

◆保健介護課 保健係 内線 3115

◆愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課

☎089-912-2400